

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 008	提案機関名 よこすか葉山農業協同組合
要望問題名 極早生タマネギの適正マルチ幅や品種の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、当地区の主力品目であるキャベツの価格低迷が長く続いており、農家の栽培意欲の減退、離農、耕作放棄地の増加などが顕著となっており、良収益品目の選定が求められています。一月から収穫出来るという極早生タマネギの栽培を昨年度より始めましたが、不見識のため収穫時期の遅れ、生育の不揃いが発生しました。この様な負要因の解消を目指して、マルチ栽培の工夫や品種の選定等により、農家所得の向上に向けてご教授頂ければと思います。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	極早生タマネギの栽培については、普及指導課で普及指導課題として取り組んでいますので、現地巡回等で問題点を抽出し、栽培事例の整理した上でマニュアル化する予定です。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			